



契約のつながりみつけた

小2
桐原東小
荒金毅先生
学級活動

資質・能力②④
安全を
つくる主体

低学年の児童に「消費者」という言葉を直接的に伝えて理解は難しいと考えていました。そこで、「消費者」という言葉は使わずに、そのポイントに触れながら「消費者教育を通して育みたい資質・能力」を少しだけ意識をして学習に取り組んでいます。タブレットの導入のタイミングで、パスワードやアカウントの扱いについて授業をしました。

活用教材：ネット社会の歩き方
<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>
「他人になります」



資質・能力⑤⑦

売買契約
の主体としての
消費者の役割

※は消費者教育教材資料表彰2020
優秀賞教材



消費者教育
の視点

小5 安土小
深尾真理菜先生
家庭科
「生活を支えるお金と物」

買い物を行うとき、必ず売買契約が成立していて契約を結んだら消費者も販売者も義務を果たす必要があることを学習しました。

問：売買契約は下の①～④のどこで成立しているかな？



活用教材：“あわっ子”みんなはじめめる消費者教育（徳島県作成）※

買い物で起こりうるトラブルの対処法について、販売者や購入者それぞれの立場でどうすればよいか自分の考えをまとめ、グループ活動を行いました。

活用教材：小学校5・6年生の家庭科教科書で売買契約の基礎をマスターしよう！（司法書士法教育ネットワーク作成）※



- ・お店の人も買う人ちゃんと売る前、買う前に確認しておくことが大事
- ・自分で使ってはじめてわかることなどもある
- ・自分のせいではなくトラブルにあったときはお店に連絡する

発 行：2021年3月
近江八幡市消費生活センター
制作協力：近江八幡市教育委員会
制 作：（公財）消費者教育支援センター

今年もつ・な・い・だ

「これも消費者教育」

持続可能な社会の実現につなぐ

消費者教育という言葉を耳にすると、教科とは別の特別な学習と考えてしまいがちです。でも、昨年度作成のリーフレットにある<消費者教育を通して育みたい資質・能力>という視点から日頃の各教科の学習を見ると、既に取り組んでいることがわかります。消費者として適切に判断し実践できる力を育むことで、安全・安心な暮らしや持続可能な社会の実現につなげたいものです。

島小学校長 村地 嘉博

プロジェクトメンバー

島小学校長	村地 嘉博
八幡中学校教諭	北川 梨恵
安土中学校教諭	弓削 久美
桐原東小学校教諭	荒金 毅
岡山小学校教諭	木村 真由美
安土小学校教諭	深尾 真理菜
桐原小学校教諭	林 大貴
北里小学校教諭	山田 知佳
学校教育課指導主事	小崎 美香

近江八幡市の消費者教育を通して育みたい資質・能力

- 知識及び技能
 - ① 消費がもつ影響への理解
 - ② 情報社会のルールや情報モラルへの理解
 - ③ 商品等の安全への理解
 - ④ 危険を回避する方法への理解
 - ⑤ 契約等への理解
- 思考力・判断力・表現力など
 - ⑥ 消費生活情報に対して批判的に思考する力
 - ⑦ 適切に意思決定をする力
 - ⑧ 処理した消費生活情報を伝え合う力
- 学びに向かう力、人間性など
 - ⑨ 持続可能な消費を実践しようすること
 - ⑩ これから的生活を設計・管理しようとすること
 - ⑪ 他者と協働して解決に向け行動しようとすること



食

のつながりみーつけた

島小学校
エディブル・スクールヤード

“畑が教室”
子どもたちのこころと手（体）、頭（考える）をつなぎ、食を通じて自然界といのちのつながりを体験的に学びます。



消費者教育
の視点

資質・能力⑪
食の生産と消費をつなぐ

資質・能力①
元気な体をつくる食

小2 北里小
山田知佳先生
栄養の学習

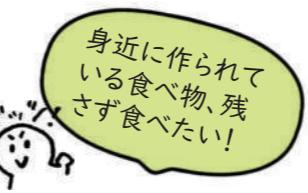
【目標】
自分の物を大事にする
→みんなで使うものも
食べ物も大事にする



栄養士さんに3つの栄養素の話をもらいました。すると苦手な食べ物も、頑張って食べる姿が見られました。保護者からも、「前よりも食べるようになった。」と、嬉しい言葉が！食べ物が自分の体にとっていかに大事かを考えることで、残食をなくすことにつながりました。

小3

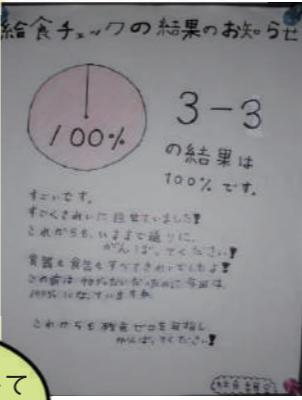
岡山小
木村真由美先生
社会科・総合的な学習の時間・朝の会



社会科…地域で丹波の黒豆の「種子大豆」が作られています！

総合的な学習の時間…古い町中のお店で「赤こんにゃく」「丁字麩」を見つけて、近江八幡ならではの食べ物を発見。

朝の会…学校給食週間の給食センターからのおたよりで、地域で作られている「信長ねぎ」や沖島の漁師さんが苦労して漁をされた湖魚が給食に出ていたことを知りました。この学びの結果、給食の残食が“ゼロ”になりました。



資質・能力⑨

地域の生産者と食の選択



資質・能力⑥⑧

世界の貧困の現状から生活を振り返る

小6

桐原小
林大貴先生

総合的な学習の時間「世界がもし77人の村だったら…」

活動や動画鑑賞を通じて、世界の人口、大陸に分かれてみよう、世界の子ども・大人・お年寄り、貧困など世界の現状について学びました。

問：「世界にはたくさんの国があるけれど、今日の学習を通じてどう感じた？16のさまざまな思いの中から近いものを選んで、詳しく書いてみよう。」

感動した

- ・どんなことがあってもたくましく生きていた
- ・あんなに小さい子どもも必死に働いている

ショックだ

- ・世界は豊かな世界だと思っていたけど、助けて！かわいそう

おどろいた

- ・同じ地球に住んでいてあんなにも貧しい生活をしている
- ・日本と全く違う
- ・日本は改めて平和な国だと思った

腹が立つ

- ・めぐまれたところがあるのに、めぐまれないところもあるなぜ世界は平等ではない？

心配だ

- ・現在も困難な生活を送っている！
- ・3日に1度しかご飯が食べられない
- ・少子高齢化…
- ・貧しい生活を続けていくこと

くやしい

- ・自分は何もできないし助けられない
- ・自分たちは学校に当たり前のように行っているけれど、行けない人もいるということ
- ・この世界についてぜんぜん知らなかった
- ・私たちのように好きなように生活できない人が世界にいること

ふくざつ

- ・政府はこういう人たちに気づいてほしい。
- ・食べられない人がいるのに毎日3食たべている

中1

八幡中学校
北川梨恵先生
社会科「南アメリカの産業・環境問題」

南アメリカの熱帯林が農業生産、都市化、交通網の整備によって減少していることを学習しました。

問：自分たちにできることは何か？

【熱帯林の伐採】→→→→→【農産物の生産】→→→【私たちの生活】



- ・できるだけごみが出ないようにする
- ・しっかり使い切る！
- ・植樹などの活動に参加する

資質・能力⑥⑨

食品ロスから考える持続可能な社会



食品ロスが引き起こす問題点

食べ物がムダになる
環境に悪い
食べられない人がいる
・食べ方に手間、お金もかかる
・増→CO₂ 温暖化

中2

安土中学校
弓削久美先生
家庭分野「食生活と環境のかかわり」

私の考える食品ロス削減 大作戦！

食べ物を無駄なく消費するには、どうしたらよいか考えよう

食品ロス 食べられるのに捨ててしまう食品



食品ロスの現状と問題点を理解し、持続可能な食生活を送るための工夫を考えました。
そして世界を変えるための目標SDGsにつなげました。

問：なぜ残るの？食品ロスを削減するためにどうしたらよいか？

- ・みんなが意識したらよい
- ・買うときにムダのないように考える
- ・外食についても考える必要がある
- ・今日の給食時から、自分にすぐできことがある
- ・もったいないを意識する

問：SDGsについて調べてみよう！

- ・滋賀県は2017年全国に先駆けてSDGsを県政に取り込むことを宣言
- ・フードバンクを利用すると良い
- ・滋賀県はSDGs未来都市に選ばれている
- ・滋賀県は琵琶湖があるから環境について考える機会がたくさんある